

令和8年度 城北畑小学校の教育・経営方針

◎ 学校教育目標の基盤

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法等の関係法規、学習指導要領
- (2) 令和8年度県教委「指導の重点」、市教委「丹波篠山の教育」の指導方針
- (3) 児童・地域の実態、保護者・地域の人の願い、教師の願い

◎ 校訓 『 良 樹 細 根 』

◎ 行動規範 「 凡 事 徹 底 」・「 啐 啄 同 時 」

1 基本方針

- (1) 安全・安心で**楽しい学校づくり**。『居場所のある学校・学級、出番のある授業』
- (2) **自分らしく**、在りたい自分を創造する力を伸ばす教育の推進。
- (3) **子どもを中心に、学校・家庭・地域が一体となって協働する**地域とともにある学校づくりの推進。

2 学校教育目標

自分らしく輝き、笑顔でつながり、全力で楽しむ城北畑っ子の育成

～大好き自分・大好き友だち・大好き城北畑～

(自己肯定感・自己有用感・自己受容) (周りの人) (学校・地域・丹波篠山)

自己有用感を軸にした「大好き」のつながり

1. 「大好き自分」(自己有用感の芽生え)

目標：**自分らしく輝き**

願い：自分の良さや個性を発揮して、クラスや授業の中で「自分が役に立った!」「認められた!」と実感する。これが「自分っていいな」という自信(大好き自分)に直結します。「ありのまま」の自分を受容する。自己選択・自己決定を大切に生きる。

2. 「大好き友だち」(他者承認と貢献)

目標：**笑顔でつながり**

願い：互いの良さを認め合い、高め合える関係。学習や遊び、学校生活の中で友だちと笑顔でつながることで、楽しく過ごす日々を実感し、周りの人を大切に思う気持ちが高まる。

3. 「大好き城北畑」(集団への所属感・愛着)

目標：**全力で楽しむ**

願い：学習・遊び・学校行事や地域の活動に主体的に関わり、まずは楽しむことが大事。そこから「自分たちが主役、自分たちがこの学校(地域)を良くしているんだ」という手応えを感じる。これが興味関心につながり、「この場所が大好き」という誇りに育ちます。

◎めざす児童像

【大好き自分】 自分のよさや可能性を認識し、自分らしく成長する子

【大好き友だち】 周りの人を大切にし、主体的に協力・協働する子

【大好き城北畑】 ふるさと(学校・地域・丹波篠山等)のよさを知り、大切にする子

◎めざす教職員像

【教科指導】 主体的・対話的で深い学びを追求する教師(教科指導)

【学級づくり】 学級が共感的で安心できる居場所になれる教師(学級づくり)

【生徒指導】 児童の良さや可能性を伸ばし、自立心や自律性の育成に努める教師
【教師力】 個々の力を生かすとともに、学び合い、協働・協力体制で取り組む教職員

◎めざす学校像 子：行きたい 保：通わせたい 職：働きたい

【楽しい城北畑】 子どもが楽しく笑顔で過ごし、未来に必要な力をつける学校

【やってみよう城北畑】 子どもと教職員が生き生きと学び働き成長する学校

【チーム城北畑】 ふるさとを大切に思い、地域とともにある学校

3 重点目標

(1) 安全で安心して学べる教育環境づくり

①城北畑版安全教育カリキュラムを基に、安全教育（各学年6時間）安全指導の推進

②組織的な生徒指導・支援体制の強化

チーム学年団、生徒指導委員会、いじめ対応チーム等の組織的対応によるいじめや不登校傾向などの課題に対し、未然防止・早期発見・早期対応を図る。

③専門家（SC・SSWR）と連携し児童理解を深め、共通認識での支援体制を充実させる。

④安全点検と事後対策の迅速な改善を行い、意識の向上と安全な学校環境づくりに努める。

⑤学級経営計画を基にした安心し自分らしく輝き笑顔でつながる学級経営を推進する。

~~児童の個性を生かし、互いに認め合える「居場所のある学級づくり」を進める。~~

(2) 夢や目標をもち、自立して未来に挑戦する児童の「生きる力」を育む

①児童の内面理解に努め、自己肯定感・自己有用感・自己受容を高める教育活動を推進する。

②自分の将来を描き、学ぶことや働くことの意義・役割等を理解させ、キャリアプランニング能力を育成に取り組む。

③自然体験、社会体験、ものづくり体験等、「本物から学ぶ」多様な体験活動を通して、人や社会と自分との関わりを認識させる。

(3) 確かな学力の育成をめざし、自ら学び自ら考える授業を創造する

①児童が主体的な学びや将来にわたって自分の「学び方」を身につける学習指導を工夫する。

②基礎的・基本的な知識及び技能の習得、「ことばの力」を高める活動の充実を図る。

③集団学習やグループ学習などの学習形態の工夫や指導者のコーディネートにより、対話による深い学びの価値を実感させ、将来にわたって学ぶ喜びを味わわせる。

④1人1台端末の「日常化」に努めるとともに、学習の個性化・指導の個別化・協働的な学びにおける効果的な活用を図る。

(4) 児童が持っている良さや可能性を引き出し、望ましい生活習慣の定着を図る

①児童の内面に対する共感的理解に努め、児童の良さや可能性を引き出す生徒指導に努める。

②気持ちのよいあいさつ、ていねいな言葉遣い、時刻・時間を意識した行動などの基本的生活習慣の定着をめざし、指導者自らが率先垂範するとともに凡事徹底に努める。

③ポジティブ行動支援を意識した指導に努める。

(5) 自主的・自律的・協同的な特別活動の充実

①学校の伝統の継承と、学校行事の精選と取り組み方法の工夫による充実を図る。

②縦割り班活動・校種間活動等集団活動での社会性・自主性の育成に努める。

③児童会活動や学級活動等で児童の主体的で自治的な活動を促し、支援する。

(6) 学校・家庭・地域の連携を深め、「地域とともにある学校づくり」を推進する。

①学校運営協議会を基盤に、地域資源【人・もの・こと】の積極的な活用や学校と家庭・地域が一体となった教育活動の具現化に取り組む。学校応援団の活用、クラブ活動の拡充、地域講師など。

②地域資源を生かし、地域と協働したふるさと教育カリキュラムの改善と充実を行う。

- ③ホームページ（月1回）の積極的活用による教育活動を発信に努める。
- （7）全教職員の協働体制整備と資質能力の向上に努め、特別支援教育の充実を図る。
 - ①個別の教育支援計画及び個別の指導計画については、PDCAサイクルによる、児童一人一人に応じたきめ細かく適切な指導及び必要な支援の充実に努める。
 - ②全教職員の共通理解に基づき、交流及び共同学習の工夫や学習内容や支援体制の構築を図る。
- （8）自分の健康や体力に興味をもち、スポーツの楽しさを味わわせ、体力・運動能力の向上を図る。
 - ①児童の実態を基に、体力づくり・運動習慣づくりを推進する。
 - ②体育学習や遊び、学級活動など、学校生活全般における体を動かす楽しさを味合わせる。
- （9）働きやすい職場環境づくり、教職員の資質能力の向上及び教職員組織の活性化を図る。
 - ①「チーム学校・チーム学団」の視点に立ち、組織的協働体制を充実させ指導を行う。
 - ②様々な研修機会を活用して、全教職員が外部の研修に積極的(1回以上)に参加する。
 - ③学校労働安全衛生委員会、業務改善委員会の機能充実に努め具体的な取組を行う。
具体：校務の情報化、スクラップ&ビルドの取組、会議の時間短縮等
 - ④服務規律の順守・綱紀粛正に向けた研修
 - ⑤計画的年休取得（年間10時間）や定時退勤日の完全実施。